

「リーダーになろう」夢・挑戦・感動」

校長 藤井 和彦

新緑の五月からみずみずしい緑の六月を迎えました。学校の周辺にある四季折々の植物がいつも私たちの目を楽しませてくれますが、今はちょうどヤマボウシの白い花が色濃くなった緑の中に映える季節となりました。

神石高原町の町木であるヤマボウシは、グラウンドに卒業記念樹として一本、グラウンドの法面に神石ライオンズクラブから寄贈された三本、そして校地のすぐ横、八尾城の遊歩道にも五く六本あります。ヤマボウシの純白の色に囲まれて、五十七名の児童は今日も元気に登校しています。

「最後まで全力・協力・運動会」のテーマで臨んだ先月の運動会では、入学したばかりの一年生を始め、全年の児童が力を合わせ、全力で挑戦する姿をご覧いただきました。

今早くも学校は一学期の後半に入り、大きな行事を終えた達成感に支えられ、また一回り大きくなった児童は集中して黙々と学習に取り組んでいるこの頃です。

本校は教育目標のサブテーマとして「リーダーになろう」夢・挑戦・感動」を掲げています。六年生を中心とした高学年の学校朝会・一斉下校の司会や委員会活動、あいさつ運動や登下校班などでの動きの中にリーダーとして自覚や行動を通しての自信が見られるようになっていきます。そしてその姿は、確実に下級生達へのお手本となります。またそれらが確実に学校のみぎ伝統となります。

「リーダーになろう」という神石小学校の目標は、一人一人の子ともたちが自分の持っている可能性を一杯発揮して、自己実現を果たしていくことでもあります。また、友達を大切にしてともに伸びていくことをすることにも通じます。自信やエネルギーに満ちあふれる神石小学校の子どもとてますます成長してほしいと願っています。